

平成23年10月20日

株式会社 山陰合同銀行

東日本大震災の被災地へのボランティア派遣

株式会社山陰合同銀行（頭取 久保田 一朝）では、東日本大震災の被災地にボランティア派遣いたしましたのでお知らせいたします。参加者はボランティア休暇を利用し活動いたしました。今後も東日本大震災で被災された方々に対して、銀行としてもできる限りの支援を行いたいと考えています。

記

1. 日程
10月13日（木） 仙台ボランティアセンター訪問
10月14日（金） } 石巻ボランティアセンター依頼による活動
10月15日（土） } （朝9時～夕方16時まで6時間の活動）
10月16日（日） } 移動日
2. 活動地 宮城県石巻市 牡鹿半島
3. 活動概要
 - ・避難所（旧石巻市立大原中学校）の片付け、隣接して建設された仮設住宅周辺の清掃活動
石巻市は10月11日（火）全ての避難所を閉鎖。
 - ・災害用土嚢づくり
牡鹿半島は10月の台風15号の被害も大きく、土砂災害により再び陸の孤島となった。
現在でも石巻から通じる県道はこれまで以上に片側通行区間が発生している。
 - ・漁業復興支援（牡蠣・ホヤ貝養殖用仕掛け復旧作業、銀ザケ養殖設備・仕掛網再作成作業）
震災で全滅し、今年度諦められていた養殖の仕掛けを例年12月の種付けに間に合わせるための復旧支援を実施。
4. 参加者 行内公募による参加者31名（男性25名、女性6名）

ボランティア活動終了後、被災地の方々のお話をうかがう機会をいただき、仮設住宅で生活されているみなさんと「上を向いて歩こう」を合唱するなど懇親をはかりました。

被災地の漁業関係者の中には、山陰と縁のある方も多く、参加者はボランティア活動を通じて被災地への思いが一層高まりました。

<活動地域補足>

- ・石巻市は死者・行方不明者3,800人を超え、被災地で最も大きな人的被害が出ている。
- ・牡鹿半島 鮫浦湾 東海岸漁村 谷川地区（東北電力女川原子力発電所近く）
仙台市から北東へ2時間、石巻市内から約1時間。
震災前約60世帯160人。現在3世帯5人。津波による行方不明者24人、死亡確認8人。

以上